

ご利用案内

通常投映日時＝土・日・祝日

通常投映時間・内容(4月～6月)

11:00(幼児～小学生向け)	13:30(小～中学生向け)	15:00(高校生～大人向け)
THE COSMOS FULL OF LIFE おおぐま座こぐま座神話 こぐま座のティオ 星空だいぼうけん ほしのおはなし(星空解説)	おとめ座物語 妖怪ウォッチ プラネタリウムは星と妖怪がいっぱい！ 星空解説 ※4/29(土)「親子プラネタリウム」は別内容となります。	4D2U 地球と月の誕生 宇宙の旅人 ～Voyagers of space～ 星空解説

※ご希望による投映も行います。事前予約が必要となりますので、詳細はお問い合わせください。

観覧料

高校生以上(個人)	510 円
高校生以上 (団体 20 名以上)	410 円
中学生以下	無料

☆博物館パスポート 1 枚につき、
高校生以上 1 名無料

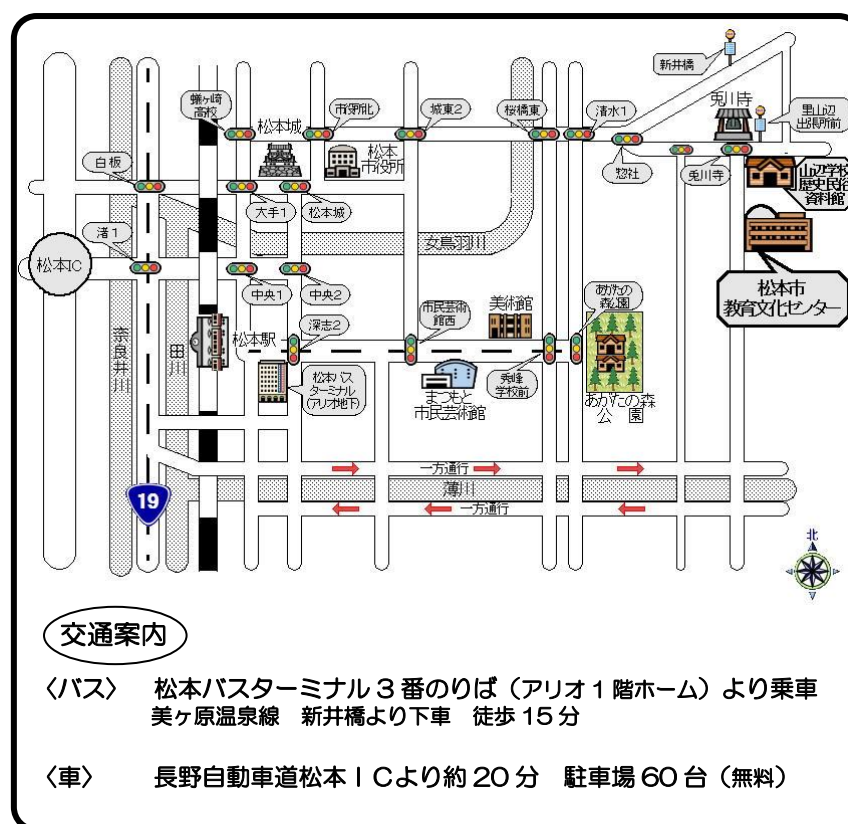
☆転入世帯優待券 1 枚につき、
1 世帯家族無料

☆障害者手帳持参により、
本人とその介助者 1 名無料

☆市内在住 70 歳以上の方は無料

☆その他、各種イベント開催時には無料

アクセス



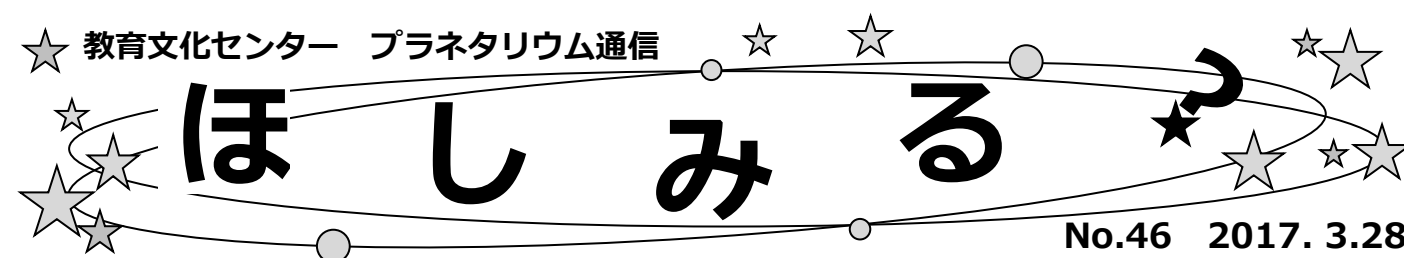
松本市教育文化センター

〒390-0221 松本市里山辺 2930-1

TEL:0263-32-7600 FAX:0263-32-7604

E-mail: kyoubun@city.matsumoto.lg.jp
(4 月から)

★ 教育文化センター プラネタリウム通信



星座ができるまで・後編

前回に引き続き、私たちが現在使う 88 星座が作られ、使われるようになるまでを紹介し
ます。星座の起源を知ること、世界の歴史や文化を知ることにも繋がるのです。

西洋の星座

15～17 世紀

大航海時代。16 世紀半ばから約 300 年
間、新しい星座を作る動きが盛んになる。



新しい星座が作られた理由

大きく 2 つの理由があります。

- ①観測技術の発展や望遠鏡などの発明により、トレミーの 48 星座に属さない空白の部分に目が向くようになったため。
- ②大航海時代により、低緯度地方や赤道を越えた南半球に足を運ぶようになり、北半球から見えない未知の星が多数発見されたため。また、さらなる航海のために目印となる新しい星座が必要となったため。

以上から、各地で独自の星座が作られました。しかし、人や国によって星座の名前や境界が異なるため、のちに世界中で混乱を招きました。

1928 年

IAU (国際天文学連合) が、世界中の星座を整理し、現在も使われる星座名と境界線を定めた全天 88 星座を確立する。

中国と日本の星座

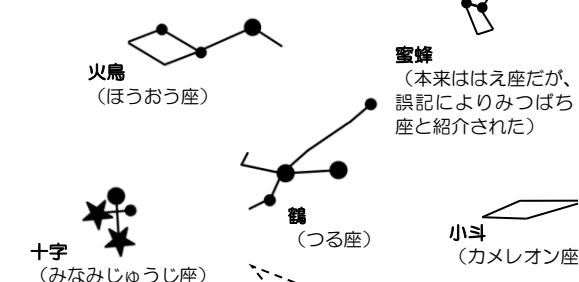
7～8 世紀

飛鳥時代の日本に、中国から星座が伝えられる。以後、江戸時代中期 (17 世紀頃) まで、この時伝えられた中国の星座が使われ続ける。

奈良県の高松塚古墳やキトラ古墳の天井には、古代中国の星座が描かれています。

16～17 世紀

西洋の宣教師たちによって、中国に南天を始めとした新しい星座が伝えられる。



追加された南天の星座は、身分制度とは関係ない、直訳された名前が多かったようです。

18 世紀末

中国から日本に南天の星座を追加した新たな星図がもたらされる。

19～20 世紀

日本では 1868 年の明治維新、中国では 1911 年の辛亥革命をきっかけに、西洋の星座が使われるようになる。

1944 年

日本の学術研究会議により、88 星座の和名が決定し、全国的に使われるようになる。以後、何度か改定され現在に至る。

星空クイズ! (南天の星座編)

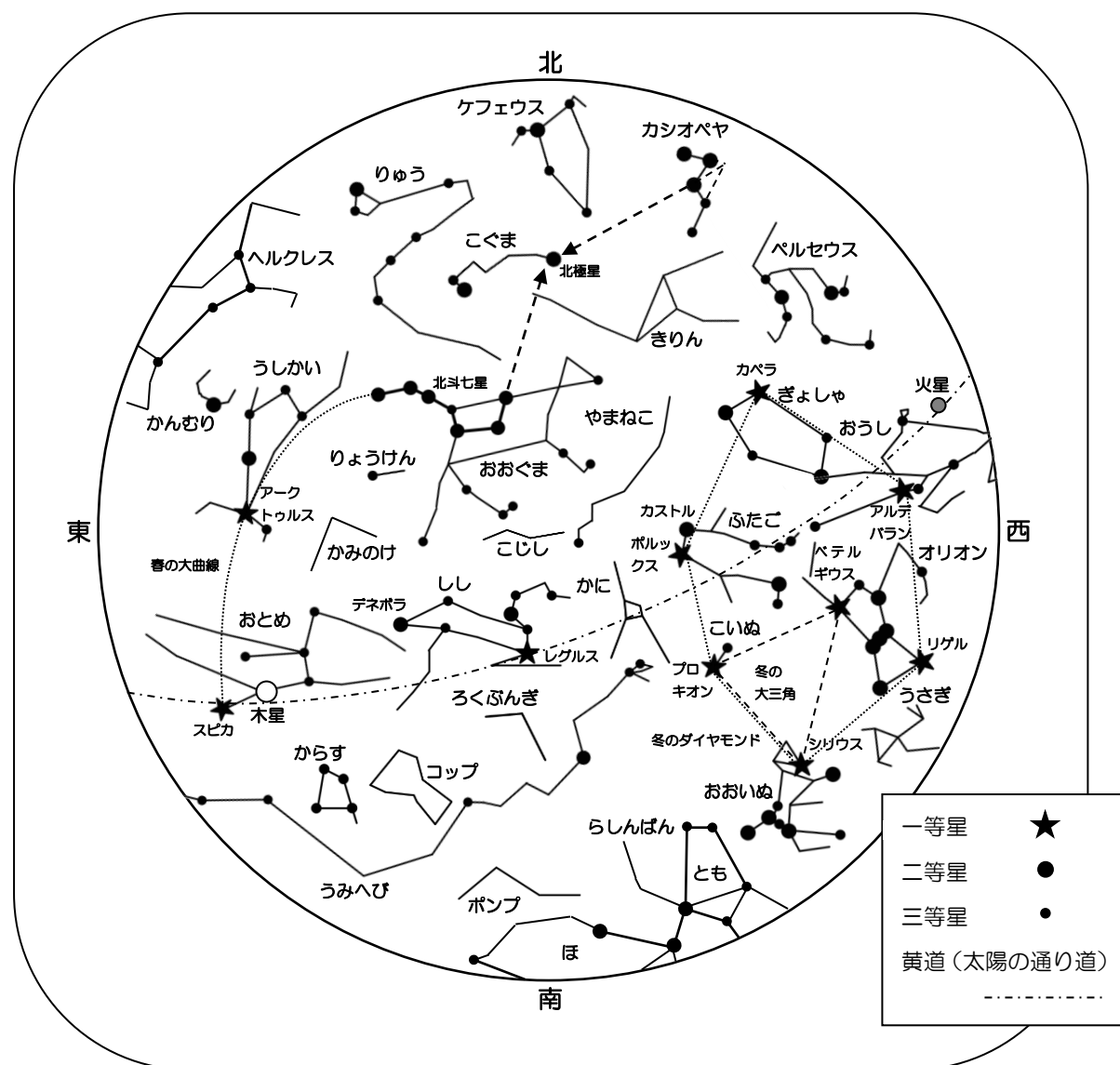
次のうち、南半球にある星座は?

- ①いるか
- ②とかげ
- ③カメレオン
- ④からす

正解は③カメレオン

季節の星空

4月15日20時頃の松本の星空



4月の主な天文情報

- 1(土) アルデbaran食(日没～20時頃)、水星が東方最大離角(日没～19時30分頃)
- 8(土) 木星がおとめ座で衝(一晩中)
- 10(月) 月と木星が接近(18時頃～明け方)
- 11(火) 満月
- 17(月) 月と土星が接近(0時頃～明け方)
- 22(土) こと座流星群が極大(出現期間16日～25日。極大時刻は21時頃)
- 24(月) 月と金星が接近(4時30分頃～明け方)
- 26(水) 新月
- 28(金) 月と火星が接近(日没～20時頃)
- 30(日) 金星が最大光度(3時30分頃～明け方)

外惑星が地球を挟んで太陽と正反対の位置にあること。惑星が一晩中大きく明るく観測できます。

地球から見て、内惑星が太陽から東へ最も離れて見える角度。地上からは、日没直後の西の空で惑星がよく見えます。

最も多く流星が現れる時間です。

最大光度のときに最も明るく見えます。

☆ ☆ ☆ プラネタリウム事業案内 ☆ ☆ ☆

4/22(土) ☆星空散歩・星の観望会 19:30～21:00

天体望遠鏡を使って、季節の天文現象を観測します。

(観測ができない天気の場合はプラネタリウムをご覧ください。)

受付開始:4/15(土) 8:30より

定員:40人(小学生以上。高校生以下は保護者同伴)

4/29(土) ☆親子プラネタリウム 13:30～

親子連れの方を中心に楽しめる、番組の投映と解説を行います。

今回のテーマは「わくわく惑星めぐり」です。

申し込み不要。当日先着90人

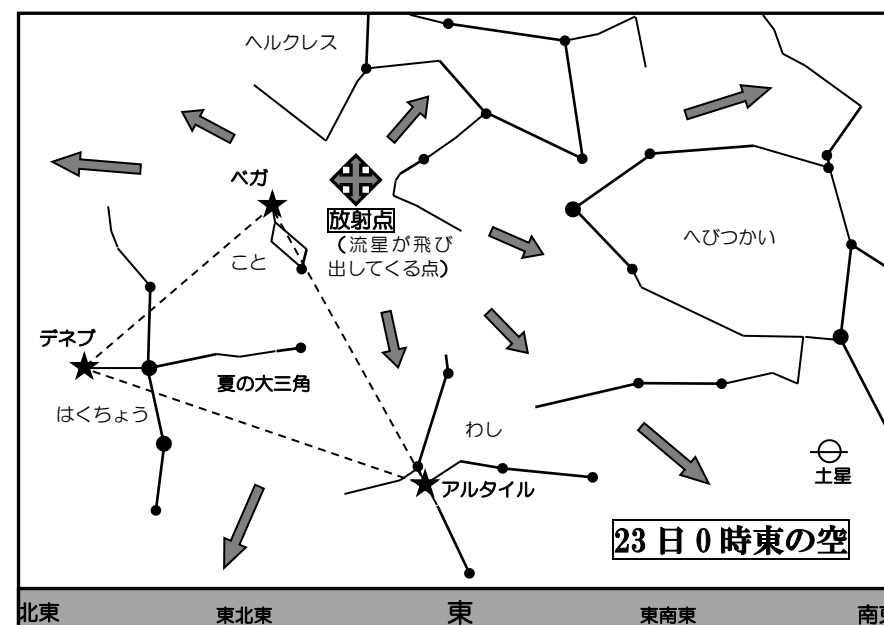
※事前申し込みが必要な事業についての受付は、電話受付のみとさせていただきます。

夜空のみどころ

1日は水星が東方最大離角となります。この前後一週間は、日没後西の空に見える水星の高度がいつもより高くなり、観測しやすくなります。西の空に注目してみましょう。

同じく1日の夜は、アルデbaran(おうし座の赤い1等星)が月によって隠される、アルデbaran食が起こります。昨年から今年にかけて何回か発生していますが、月の軌道と黄道が交わる18.9年の周期に差しかかると起こる、大変珍しい現象です。今回はやや細めの月で月明かりが少ないので、かなりの好条件と言えます。18時40分頃にアルデbaranが月の裏側に入り込み、再び出てくるのは19時55分頃と予想されます。空がまだ明るい場合もありますので、月の位置を手がかりに望遠鏡や双眼鏡で確認してみましょう。次回は7月20日に起こり、今年何回か発生した後は2034年まで観測できなくなります。

そして、22日はこと座流星群が極大となります。こと座流星群は、通常では1時間あたり多くて10個と出現数が少ないのですが、時おり突発的に出現数が増加することがあり



ます。今年の極大日は新月に近いので、あまり月明かりの影響を受けずに観測でき好条件です。極大時刻の21時頃は北東の空にこと座が出現したばかりで放射点がやや低めなので、見頃はこと座が高くなる23時～明け方となります。土星や夏の夏の大三角を手がかりに、東の空に注目しましょう。